学生卒業設計制作NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

受賞年	2024年	
受賞タイトル	**優秀賞**	
区　分	Ⅱ．生活ディスプレイデザイン	
フリガナ	スギムラハルカ	
制作者名	杉村春佳	
フリガナ	ビジュツガクブ　カンキョウデザインガッカ	
卒業時の大学 学部・学科	美術学部　環境デザイン学科	
フリガナ	キシモトアキラ	職名
推薦者名	岸本章	教授
フリガナ	トリバコ	
作品名	TORI BAKO	

概　要

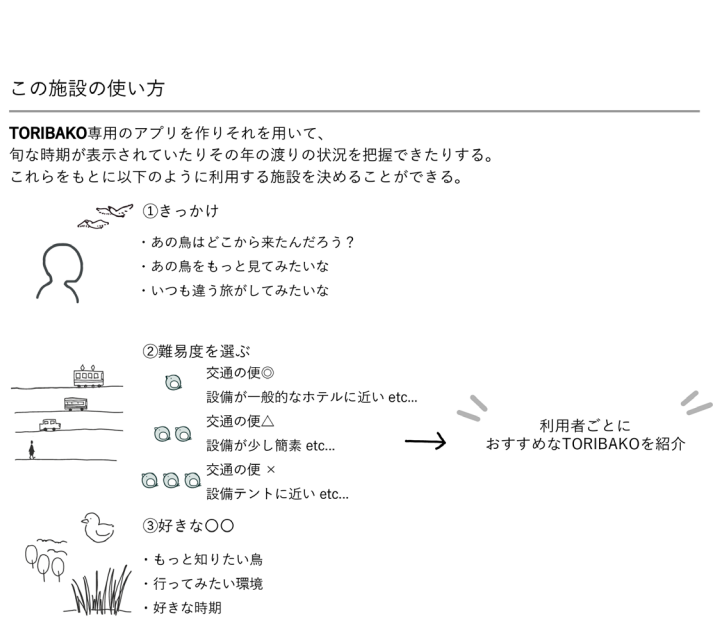
TORI BAKO

日本中、世界中を季節によって棲み分けている渡り鳥。
この渡り鳥が一体どこをどう通り日本を渡っていくのか、
その姿を身近に感じながら日本中を旅することができる施設。

そして、この施設を利用することで季節ごとに違う野鳥感じ、
利用者の日々の生活の中で
野鳥が季節を感じる一つの要因になればいいと考えた。

今回設計した五つの施設は、
渡る鳥の種類・鳥が暮らしている環境・鳥が渡る姿
をもとに選定した敷地となっている。
どの敷地も半日から数日の滞在を想定し、
そこにいる鳥たちとそこにお邪魔する人の関係に注目し設計を行なった。

この施設について
この施設は、泊まるもよし、日帰りや決まった短い時間だけ
利用するのもよしとしている野鳥観察の施設となっている。
鳥によって渡来時間や活動が活発になる時間が
違うためどの時間に訪れても楽しむことができる。
ぜひ、行きたい施設を探してみてください。



渡り鳥について

鳥には “夏鳥・冬鳥・留鳥・旅鳥・漂鳥” の５つの渡り方の種類があり、
その中で季節による渡りをするのは　夏鳥・冬鳥・旅鳥・漂鳥　の４種類となっている。

夏鳥　… 春に繁殖のために日本より南の地域から渡ってきて 秋に越冬のため南の地域に渡っていく鳥。
冬鳥　… 秋に越冬のために日本より北の地域から渡ってきて 春に繁殖のため北の地域に渡っていく鳥。
旅鳥　… 渡りの途中に日本を訪れる鳥のこと。
　　一般的には日本より北の地域で繁殖を行い日本より南の地域で越冬を行う鳥。
漂鳥　… 日本国内で渡りを行う鳥。
留鳥　… 季節よる移動を行わずに一定の地域に留まる鳥。

春の渡りは２月上旬～6 月上旬、秋の渡りは７月上旬～11 月中旬と
幅広く季節を超えて様々な渡り鳥が渡っている。
多くの渡り鳥は、昼夜問わず渡ことを強いられるが種によって主に昼間に渡るのか、
夜間に渡るのかが異なる。昼間に渡る鳥は上昇気流をうまく利用して滑翔ができる鳥が渡り、
夜間には滑翔せず常に羽ばたきながら渡る鳥が渡る。
これらの鳥の多くは大気が安定している日の出前後にも渡りを行う。
つまり渡りの季節には、昼夜問わず常に渡っている姿を観察することができる。
渡り鳥に出会える環境は、海岸・河川・湖沼・干潟・農地・ヨシ原・山・峠・岬・離島・
海岸林・都市公園と数多くある。意外と身の周りの鳥を調べると渡りに来ている鳥であることも多い。

別　紙

制作者名	杉村春佳
作品名	TORI　BAKO

【コンセプト解説】

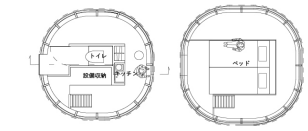
春国岱

土地特徴：干潟、森　難易度：
おすすめ時期：1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

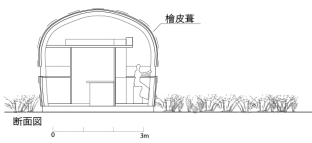
日本有数の水鳥の渡来地として名高い風蓮湖。
冬には猛禽類も数多く訪れ、多種多様な生き物が住んでいる。

海も森も湖も近いこの場所では、
夏も冬もたくさんの生き物を見ることができる。
何かの巣のようなこの TORIBAKO から
ひっそりと彼らの生活をのぞいてみよう

01 図面



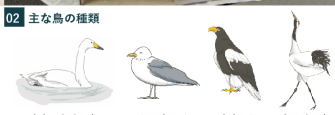
1F 平面図　2F 平面図



断面図

隠れられるようなものが
何もなく海風が強く吹き付け、
低層の植物が広がっている春国岱
の第二砂丘。
雪が降る時期でも植物がおいしげ
る時期でもその**土地に馴染めるよ
うな色・形・素材感**を追求した。
生活に必要なものは中心のコア部
分に納めることによって、狭い内
部でも圧迫感を減らそうとした。
またコアが中心にあるためそのまわ
りを回遊することができ、
360°鳥を観察することができる。

02 主な鳥の種類



オオハクチョウ　シロカモメ　オオワシ　タンチョウ

03 空間スケッチ

外壁には**檜皮葺**を使用しており、
北海道の厳しい気候にも耐えることができる。
夏は涼しく、冬はあたたかい環境の
手助けをしてくれる。

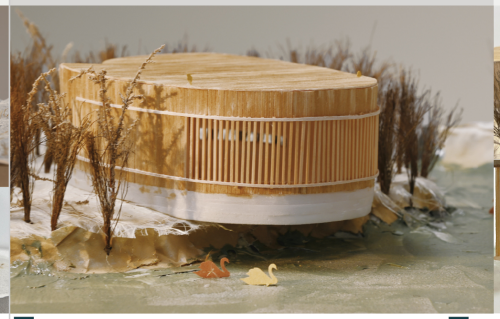
建物の内側は**構造体が見える内部空間**を設計した。
梁の役割をしている横材を
そのまま小さなテーブルとして使えるように
内部の空間に取り入れている。

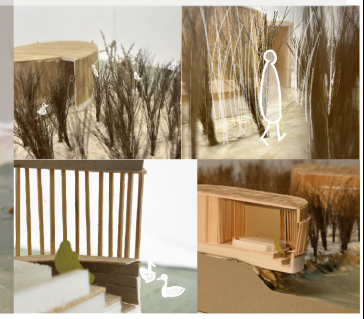
佐潟

土地特徴：湖　　難易度：
おすすめ時期：1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

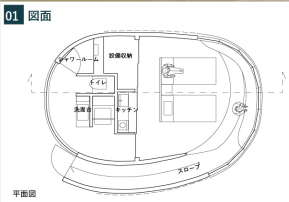
平均水深1M程度の砂丘湖で、周辺の松竹からもたらせる地下水により
湖水が維持されている。湖岸には2~3M葦原が発達し、
周年多くの鳥類を観察することができる。
10月下旬から白鳥類が飛来し、夜明け後オオヒシクイの群れが飛び始める。

2~3m の葦原に囲まれた湖がある佐潟の TORIBAKO 。
葦原に隠れながら白鳥の渡りや
葦原の中に住んでいる小鳥たちを観察することができる。
葦原の中にあるこの施設にこもって葦と葦の間から
観察してみてはどうでしょうか。

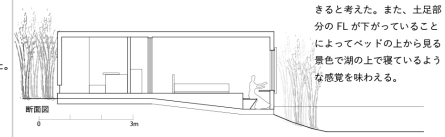




01 図面



平面図



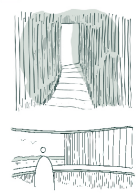
断面図

ルーバーをつけることによって
周りの葦の縦ラインと調和
して周りの**環境に馴染むこと**
ができる。 このルーバーは
可動式で窓を開放的に開けた
い時などは、左右に開閉する
ことができる。
土足で入れる場所を広くとり
外から帰ってきた流れですぐ
に鳥の観察することができ
る。これによって、**いつもの
生活の行動の中に鳥を見ると
いう行為を組み込む**ことがで
きると考えた。また、土足部
分の FL が下がっていること
によってベッドの上から見る
景色で湖の上で寝ているよう
な感覚を味わえる。

02 主な鳥の種類

オオハクチョウ　オオヒシクイ　チュウヒ

03 空間スケッチ



人の背より高い葦原の中をかき分けながら
板張りの細い道を頼りに進んでいく
TORIBAKO の入り口が現れる。

中に入り R のついた壁に沿って
をくだるとルーバー越しに湖の鳥たちが
生活している様子が見える。
建物の外にいる時よりも水面の位置が近くなり
鳥の目線に近い状態で鳥が暮らしている
環境を覗くことができる。

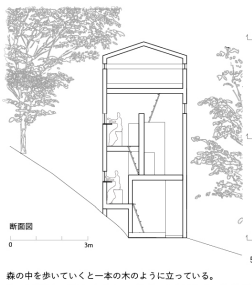
日ノ岬

土地特徴：岬、森　　難易度：
おすすめ時期：1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

海を眺めながら、タカの渡りを楽しむことができる岬。
渡りのピークは9月下旬から10月中旬となっている。
タカの渡りはもちろんだが春には小鳥の渡りが見られる。

四国の方面に渡る鳥たちをゆっくりと
眺めることができる日ノ岬の TORIBAKO。
ここでは木に止まっている鳥を見るのは
もちろんだが上空を優雅に
渡っていく鳥たちを観察することが
できる。鳥の飛び方も種類によって
さまざま、鳥たちの飛び方に
注目して観察してみるのはどうでしょか。

01 図面

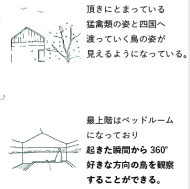


森の中を歩いていくと一本の木のように立っている。
その中は**スキップフロア**になっており、上に進んでいくごとに違う景色が見られる。
主に**鳥は地面から 2m 以上離れた場所で暮らしている。**
**木の中腹部分にいる鳥・枝先にいる鳥・木の頂によくいる鳥
木を見るだけでも高さによって出現しやすい鳥の種類が違う。**
そのためスキップフロアにすることで各階でさまざまな鳥を楽しみことができる。

02 鳥の種類

サシバ　オオタカ　ハチクマ

03 空間スケッチ



頂きにとまっている
猛禽類の姿と四国へ
渡っていく鳥の姿が
見えるようになっている。

最上階はベッドルーム
になっており
**起きた瞬間から 360°
好きな方向の鳥を観察
することができる。**

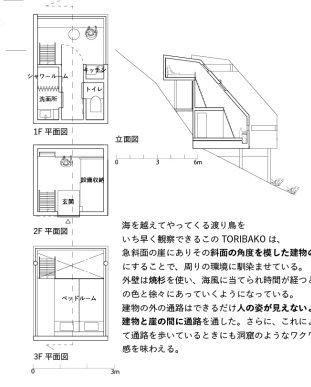
天売島

土地特徴：崖、森　　難易度：
おすすめ時期：1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

5月、9月をピークに海を渡る数多くの渡り鳥が訪れる。
春は、海鳥と渡り鳥が同時に見れる贅沢な時期になる。
ウミガラスやケイマフリなど、
8種類100万羽近くの海鳥が繁殖する島。

急な崖地にある天売島の TORIBAKO
海をこえて渡ってくる鳥たちを
一番早く見ることができる
朝も夜も鳥たちの生活を崖に馴染むように
造られたこの TORIBAKO で観察しよう

01 図面

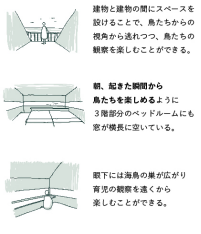


海を越えてやってくる渡り鳥を
いち早く観察できるこの TORIBAKO は、
急斜面の崖にありその**斜面の角度を模した建物の形**
にすることで、周りの環境に馴染ませている。
外壁は焼杉を使い、海風に当てられ時間が経つと崖
の色と徐々にあっていくようになっている。
建物の外の通路はできるだけ**人の姿が見えないよう
建物と崖の間に通路**を通した。さらに、これによっ
て通路を歩いているときにも洞窟のようなワクワク
感を味わえる。

02 鳥の種類

ウミスズメ　ウトウ　ケイマフリ

03 空間スケッチ



建物と建物の間にスペースを
設けることで、鳥たちからの
視角から逃れつつ、鳥たちの
観察を楽しむことができる。

**朝、起きた瞬間から
鳥たちを楽しめる**ように
3階部分のベッドルームにも
窓が横長に空いている。

眼下には海鳥の巣が広がり
育児の観察を遠くから
楽しむことができる。

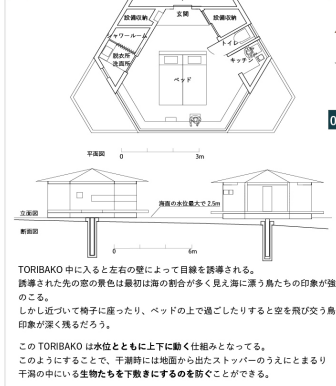
和白干潟

土地特徴：干潟　　難易度：
おすすめ時期：1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

街の中に隣接する干潟。多くの渡り鳥が飛来する。
手を伸ばせそうな近距離で鳥たちを観察することができる。
シギ・チドリ類を多く見ることができる。

この TORIBAKO は街のそばの干潟にあり
鳥も鳥以外の生き物もたくさん生息している。
満潮時干潮時に合わせて建物も上下に動き
時間ごとに変わるアイレベルで活発に動く鳥
たちを観察することができる
そんな鳥の姿を観察しよう。

01 図面



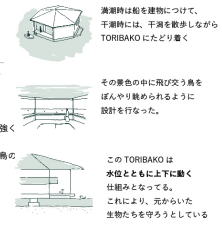
TORIBAKO 中に入ると左右の壁によって目線を誘導される。
誘導された先の窓の景色は最初は海の割合が多く見え海に漂う鳥たちの印象が強く
のこる。
しかし近づいて椅子に座ったり、ベッドの上で過ごしたりすると空を飛び交う鳥の
印象が深く残るだろう。

この TORIBAKO は**水位とともに上下に動く**仕組みとなってる。
このようにすることで、干潮時には地面から出たストッパーのうえにとまるり
干潟の中にいる**生物たちを下敷きにするのを防ぐ**ことができる。

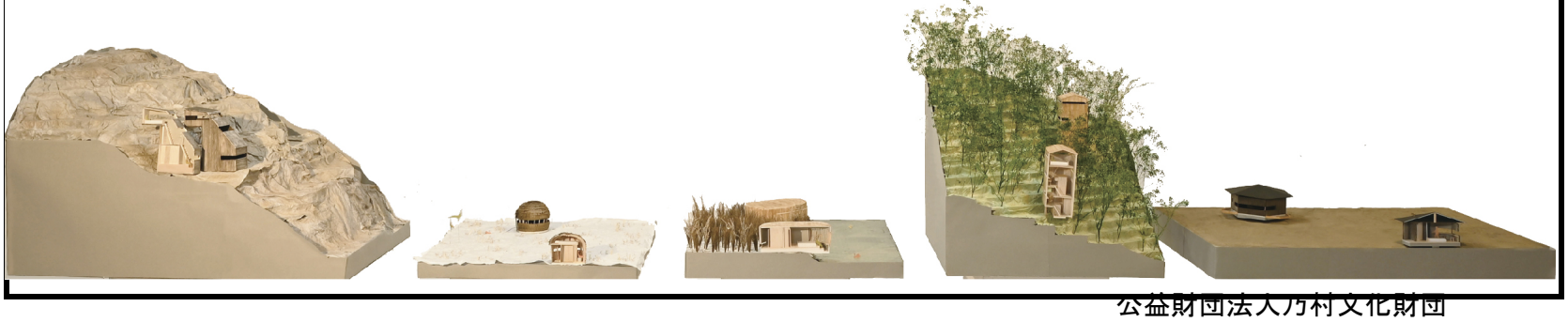
02 鳥の種類

ミヤコドリ　クロツラヘラサギ　ツクシガモ

03 空間スケッチ



満潮時は船を建物につけて、
干潮時には、干潟を散歩しながら
TORIBAKO にたどり着く

その景色の中に飛び交う鳥を
ぼんやり眺められるように
設計を行なった。

この TORIBAKO は
水位とともに上下に動く
仕組みとなってる。
これにより、元からいた
生物たちを守ろうとしている